



平成 27 年度

# 要 覧



栃木県総合教育センター



管理研修棟全景



大講義室



グラウンドと体育館



体育館内部

## 目 次

1	沿 革	1
2	組織及び部の主要業務	2
3	事 業	3
	(1) 研修事業	3
	(2) 学習機会提供	9
	(3) 学習相談・情報提供	10
	(4) 調査研究事業	11

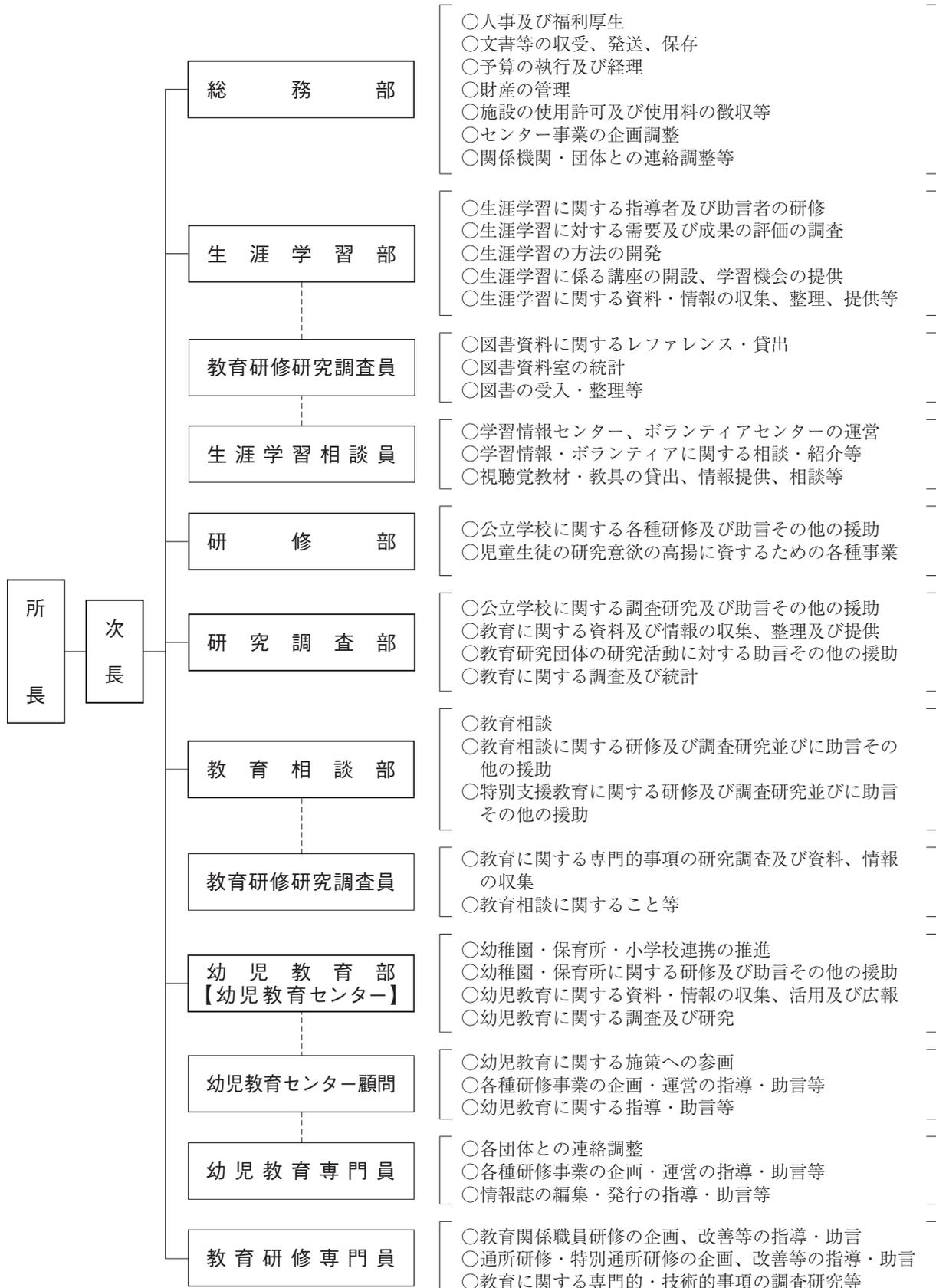
	(5) 教育相談事業	12
	(6) 幼児教育充実推進事業	13
	(7) 資料・情報の収集提供事業	14
	(8) 研究・学習活動支援事業	15
	(9) 教育充実振興事業	16
4	職員等一覧	17
5	配置図	18

# 1 沿 革

昭和37年 4 月	栃木県理科教育センター開設
昭和46年 1 月	栃木県教育研修センター開設
昭和63年12月	総合教育センター整備基本構想策定 教職員研修と生涯学習推進機能を併せもつ施設として、宇都宮市瓦谷町地内（中央青年の家跡地及び農業試験場農場）に計画
平成 2 年11月	総合教育センター建設工事着工
平成 4 年 6 月	「栃木県総合教育センター条例」制定
平成 4 年 7 月	建設工事竣工
平成 4 年 9 月	「栃木県総合教育センター管理規則」制定 1 課 4 部制 管理課、生涯学習部、義務教育部、高校教育部、特殊教育・相談部
平成 4 年10月	栃木県総合教育センター開所
平成 9 年 4 月	栃木県生涯学習ボランティアセンター設置
平成11年 4 月	特殊教育・相談部を障害児教育・相談部に名称変更
平成13年 4 月	義務教育部、高校教育部を研修部、研究調査部に組織改編 障害児教育・相談部を教育相談部に名称変更
平成14年 4 月	幼児教育部「幼児教育センター」設置6部制となる
平成15年10月	カリキュラムセンター設置
平成24年10月	栃木県総合教育センター設立20周年記念式典
平成25年 4 月	管理部を総務部に改編し、企画調整担当を設置

## 2 組織及び部の主要業務

平成27年4月1日現在



# 3 事 業

## (1) 研修事業

### ア 教育関係職員研修の充実

「栃木県公立学校教員研修要綱」に基づき、教員研修を推進するとともに、小・中学校事務職員、学校栄養職員の研修の充実を図る。

#### 基本研修

番号	研 修 講 座 名	対 象	日数
1	初任者研修（小・中）	小・中学校新任教員	21
2	初任者研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任教員	21
3	新規採用養護教諭研修	新規採用養護教諭	14
4	新規採用学校栄養職員研修	新規採用学校栄養職員	10
5	新規採用事務職員研修（小・中）	小・中学校新規採用事務職員	7
6	教職2～5年目研修（小・中）	小・中学校の教職2年目から5年目に該当する教員	4
7	教職2～5年目研修（高・特）	高等学校、特別支援学校の教職2年目から5年目に該当する教員	4
8	養護教諭2～5年目研修	2年目から5年目に該当する養護教諭	4
9	学校栄養職員2～5年目研修	2年目から5年目に該当する学校栄養職員	4
10	教職10年目研修（小・中）	小・中学校の教職10年目に該当する教員	10
11	教職10年目研修（高・特）	高等学校、特別支援学校の教職10年目に該当する教員	10
12	養護教諭10年目研修	10年目に該当する養護教諭	8
13	事務職員10年目研修（小・中）	小・中学校の10年目に該当する事務職員	/
14	教職20年目研修（小・中）	小・中学校の教職20年目に該当する教員（養護教諭を含む）	4
15	教職20年目研修（高・特）	高等学校、特別支援学校の教職20年目に該当する教員（養護教諭を含む）	4

#### 専門研修1ア

番号	研 修 講 座 名	対 象	日数
1	新任免許外教科担任研修（中）	免許状を有していない教科を担当する教諭のうち、当該教科を初めて担任する者	2
2	産業教育基礎技術研修	高等学校農・工・商・家担当の教職3年目に該当する教員	各2
3	理科・基礎実験研修（高）	高等学校理科担当の教職3年目に該当する教員	3
4	英語授業力向上研修	指定された小学校の教員及び、中学校、高等学校の英語科担当教員	3

番号	研 修 講 座 名	対 象	日数
5	ネクストステージ研修	学校における教育活動推進の中心的立場にある教職員	6
6	校内支援体制研修	校内支援体制の整備・充実に向けて中心的な役割を担う、小・中学校、高等学校の教員	4
7	教育相談指導者養成研修（高）	今後県内で教育相談活動を推進する高等学校教員で、原則として教職5年目研修または教職2～5年目研修（5年目）を修了し、かつ、教育相談基礎研修を修了している者	6
8	特別支援学級等新任教員研修	特別支援学級・通級指導教室の新任担当教員	5
9	特別支援学級等実践研修	特別支援学級・通級指導教室を担当して本年度3年目の教員	4
10	新任特別支援教育コーディネーター研修（小・中）	小・中学校の新任特別支援教育コーディネーター	2
11	特別支援教育推進者研修（高）	本年度の特別支援教育コーディネーター。ただし、これまでに新任特別支援教育コーディネーター研修（高等学校）、特別支援教育推進者研修（高等学校）を受講した者を除く。	2
12	特別支援学校新任教員研修	本年度、特別支援学校に初めて着任した教員	1×2
13	職業教育指導力向上研修	特別支援学校高等部において職業教育を推進する教員	3
14	自立活動指導者研修	自立活動の指導充実に因る上で指導的役割を担う教員	3
15	合同研修（幼・保・小）	幼稚園・保育所：年長担当者等 小学校：第1学年担任等	1
16	幼稚園・保育所・小学校教職員相互職場体験研修	幼稚園・保育所：教職員 小学校：教諭等	3

#### 専門研修1イ

番号	研 修 講 座 名	対 象	日数
1	校長研修（小・中）	小・中学校長	1
2	校長研修（高・特）	高等学校長、特別支援学校長	1
3	新任校長研修（小・中）	小・中学校新任校長	2
4	新任校長研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任校長	2
5	教頭2年目研修（小・中）	小・中学校2年目教頭	3
6	教頭2年目研修（高・特）	高等学校、特別支援学校2年目教頭	3
7	新任教頭研修（小・中）	小・中学校新任教頭	4
8	新任教頭研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任教頭	4
9	新任主幹教諭研修（小・中）	小・中学校新任主幹教諭	2
10	新任主幹教諭研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任主幹教諭	2
11	新任部主事研修（特）	特別支援学校新任部主事	2
12	新任教務主任研修（小・中）	小・中学校新任教務主任	2
13	新任教務主任研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任教務主任	3
14	新任学年主任研修（高）	高等学校新任学年主任	1

番号	研修講座名	対象	日数
15	新任学習指導主任研修（小・中）	小・中学校新任学習指導主任	1
16	新任学習指導主任研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任学習指導主任	1
17	新任児童指導主任研修（小）	小学校新任児童指導主任	1
18	新任生徒指導主事研修（中）	中学校新任生徒指導主事	1
19	新任生徒指導主事研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任生徒指導主事	2
20	新任進路指導主事研修（中）	中学校新任進路指導主事	1
21	新任進路指導主事研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任進路指導主事	1
22	新任栄養教諭研修	新任栄養教諭	5
23	新任道德教育推進教師等研修	小・中学校、特別支援学校新任道德教育推進教師等	1
24	新任地域連携教員研修	小・中学校、高等学校、特別支援学校の新任地域連携教員	2
25	人権教育指導者専門研修	人権教育主任等	6
26	新任補佐級事務長研修（小・中）	小・中学校新任補佐級事務長	1
27	新任係長級事務長研修（小・中）	小・中学校新任係長級事務長	2
28	新任係長級学校栄養職員研修	新任主査に該当する学校栄養職員	2

## 専門研修2

番号	研修講座名	対象	日数
1	学校図書館研修	学校図書館にかかわる教職員	1
2	教科等専門研修	小・中学校、高等学校、特別支援学校の教職員	1 × 16 2 × 1
3	小学校理科観察実験研修〔初級〕	小学校及び特別支援学校小学部の教員	1
4	小学校理科観察実験研修〔中級〕	小学校及び特別支援学校小学部の教員	1 × 2
5	産業教育専門研修〔農・工・商・家〕	高等学校、特別支援学校の農・工・商・家担当教員	各2
6	環境学習プログラム研修	幼稚園・保育所、小・中学校、高等学校、特別支援学校の教職員	3
7	実習助手研修	高等学校、特別支援学校の実習助手（新規採用者以外は第3日より受講）	2 (4)
8	ICT活用研修（エクセル入門）	小・中学校、高等学校、特別支援学校の教員	1
9	ICT活用研修（エクセルマクロ）	小・中学校、高等学校、特別支援学校の教員	2
10	ICT活用研修（パワーポイント入門）	小・中学校、高等学校、特別支援学校の教員	1
11	ICT活用研修（動画編集）	小・中学校、高等学校、特別支援学校の教員	1
12	ICT活用研修（学校ホームページ構築）	小・中学校、高等学校、特別支援学校の教員	2
13	ICT活用研修（書画カメラの活用）	小学校、特別支援学校の教員	1

番号	研修講座名	対 象	日数
14	校内研修ステップアップ講座	小・中学校、高等学校、特別支援学校の教員	2
15	教育相談基礎研修	小・中学校、高等学校、特別支援学校の教職員	4
16	教育相談課題研修〔いじめの理解と対応〕	小・中学校、高等学校、特別支援学校の教職員	1
17	教育相談課題研修〔不登校の理解と対応〕	小・中学校、高等学校、特別支援学校の教職員	2
18	教育相談実践研修〔保護者との連携〕	小・中学校、高等学校、特別支援学校の教職員	1
19	知的障害教育研修	小・中学校の教員、特別支援学校の教職員	1
20	自立活動研修	小・中学校の教員、特別支援学校の教職員	1
21	通級による指導研修	通級指導教室を担当する教員	2
22	発達障害のある子どもの教育支援研修	小・中学校、高等学校、特別支援学校の教職員	1
23	早期教育相談担当者基礎研修	特別支援学校の早期教育相談担当の教員	2
24	初心者のための田中ビネー知能検査V研修	特別支援学級担任、通級指導教室担当、市町の教育支援委員会の調査員等で、田中ビネー知能検査Vを初めて実施する教諭や養護教諭。田中ビネー知能検査Vを初めて実施する特別支援学校教諭。	1×3
25	トップセミナー	幼稚園長、保育所施設長、小学校長、特別支援学校校長 等	1
26	特別支援教育研修	幼稚園・保育所・小学校・特別支援学校の教職員	2
27	スキルアップセミナーⅠ	幼稚園・保育所・小学校・特別支援学校の教職員	1
28	スキルアップセミナーⅡ	幼稚園・保育所・小学校・特別支援学校の教職員	1

### 専門研修3

番号	研修講座名	内 容
1	とちぎの教育未来塾	教職経験5年以内の若い教員と、栃木県の公立学校の教員を目指す学生等が、ともに学ぶことを通して、資質能力の向上を図るため、実践的な講義とグループ協議を中心に、土曜日に開催する。
2	教職員サマーセミナー	今日的な教育課題についての見識を深めたり、教職員として必要な教養を身に付けたりすることにより、資質の向上を図るため、宇都宮大学との連携により、夏季休業中に講座を開設。
3	環境学習プログラム体験セミナー	教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等における環境教育・環境学習の在り方についての理解を深め、指導力の向上を図る。
4	教科自主研修（高・特）	総合教育センターの施設・設備等の機能を生かして、教科指導に関する自己の課題解決能力の向上を図る。

## イ 生涯学習関係研修の充実

県民の学習活動の充実と活性化を図るため、生涯学習の推進にあたる関係職員及び地域活動、ボランティア活動にかかわる団体や個人の資質の向上を目指す。

生涯学習関係研修等

### ◇ 生涯学習指導者研修 ◇

番号	研修名	事業のねらい	事業概要	参加対象者	日	定員
1	女性教育指導者研修	地域活性化のための団体活動の在り方について学び、社会参画に必要なスキルの向上を図るとともに、指導者としての資質の向上を目指す。	・地域活動を充実させるために ・施設見学 ・グループ研究 ・リーダーに求められるスキルの習得 等	[推・公募] 県民	8	30
2	家庭教育オピニオンリーダー研修	家庭教育について自主的な学習、情報や学習機会の提供、相談活動等を積極的に行い、地域に根ざした家庭教育支援ができるリーダーの養成を目指す。	・子どもたちの現状と家庭教育支援 ・カウンセリングマインドを生かした相談のあり方 ・フィールドワーク ・家庭教育支援講座の企画 等	[推・公募] 県民	7	50
3	家庭教育支援プログラム指導者研修	家庭の教育力の向上を図るために、親同士が交流しながら子育てに必要な知識やスキル等を学ぶ「家庭教育支援プログラム」を活用できる指導者を養成する。	・親学習プログラムコース	県民	4	70
			・思春期版家庭教育支援プログラムコース	県民	2	70
			・スキルアップコース	県民	4	70
4	生涯学習ボランティア研修	主に生涯学習ボランティアの実践者を対象に、ボランティア活動の望ましい在り方と今後の活動の拡大に向けての方策を探る。	・地域づくりとボランティア活動 ・ボランティア活動によるよりよい地域づくりをめざして。	社 教 県民	1	30
5	ウィークエンド青少年セミナー	青少年が地域活動やボランティア活動に積極的に参加できるよう、演習を中心とした主体的な活動をとおして学び、青少年リーダーとしての実践力を養う。	・地域活動の事例発表 ・レクリエーション・工作遊び体験 ・ボランティア活動事業の企画、立案、準備、実践 等	社 青 少 年 大 学 生 高 校 生	5	30
6	放課後活動指導者研修	放課後活動にかかわる指導者の資質向上や情報交換を図る。	・放課後活動の指導者とは ・活動プログラムの紹介や体験 ・情報交換 等	社 教 県民	6	150
7	学校支援ボランティア活動推進セミナー	学校支援ボランティア活動を中心に子どもに関わる活動に携わる関係者の資質の向上を図るとともに、関係者間のネットワーク構築を目指す。	・学校を核として地域ぐるみで子どもを育む ・子どもの心の理解と接し方 等	社 教 県民	3	80
8	地域教育コーディネーター養成セミナー	地域教育コーディネーターの果たす役割の重要性について学び、地域課題の解決に向けた取組等の充実と住民同士の交流や協働を促すための基礎を培い、地域づくりに貢献する指導者を養成する。	・地域教育コーディネーターの取組の実際 ・地域教育コーディネーターに期待される役割	社 教 県民	1	200

### ◇ 県・市町職員等研修 ◇

9	生涯学習推進初任者研修	生涯学習・社会教育についての理解を深め、生涯学習を推進する担当職員としての資質を高める。	・これからの生涯学習の役割と推進の在り方 ・生涯学習プログラムの企画・立案 等	社	3	100
10	人権教育指導者専門研修	人権教育を推進するため、指導者としての資質・能力の向上を目指す。	・人権教育の視点 ・現地研修・情報交換 ・人権に関するワークショップ 等	社 教	6	50
11	社会教育主事・社会教育関係職員等実践フォーラム	生涯学習社会の実現に向けての全県的な取組を積極的に推進するため、専門的指導者としての資質・能力の向上を図る。	・これからの社会教育や生涯学習の方向性 等	社 教	1	60

### ◇ 視聴覚教育指導者研修 ◇

12	情報モラル指導者研修	情報化時代において情報の取扱いに対し責任をもって対処できる青少年を育成するための指導者としての資質の向上を図る。	・ネット社会でトラブルに巻き込まれないために ・演習・情報交換 等	社 教 県民	1	70
13	16ミリ映写機技術指導者研修	視聴覚教材・機材の利用促進を図るため、16ミリ映写機技術者養成講習会の指導者を養成する。16ミリ映写機技術修得証明書取得者の技術及び資質の向上を目指す。	・16ミリ講習会の企画・運営 ・16ミリ映写機操作指導のポイント 隔年実施（H27年度は実施）	社 視	1	20

◇ 新任地域連携教員研修 ◇

14	新任地域連携教員研修	地域連携教員としての職務、今日的な教育課題、地域連携の進め方等について理解を深め、地域連携教員としての資質の向上を図る。	・新任地域連携教員への期待 ・事例発表・研究協議 ・コース別演習 等	教	2	180
----	------------	--	--	---	---	-----

※社：県・市町社会教育関係職員 県民：一般県民 教：教職員  
 視：視聴覚ライブラリー職員 (推)：要推薦

ウ 幼児教育関係研修の充実

幼稚園・保育所・小学校等の教職員を対象とした合同研修や相互理解のための職場体験研修をはじめとして、幼稚園教育要領や保育所保育指針に基づく研修や今日的な課題に対応した研修を行い、幼児期における教育・保育の充実を目指す。

幼児教育関係研修等

(一部再掲)

番号	研修講座名	対象	日数
1	合同研修（幼・保・小）	幼稚園・保育所：年長担当者等 小学校：第1学年担任等	1
2	幼稚園・保育所・小学校 教職員相互職場体験研修	第1日	幼稚園・保育所の教職員
		第2、3日 (職場体験)	小学校の教諭等
3	トップセミナー	幼稚園長、保育所施設長、小学校長、特別支援学校校長 等	1
4	教育課程研究集会（幼児教育）	幼稚園・保育所の教職員	3
5	特別支援教育研修	幼稚園・保育所・小学校・特別支援学校の教職員	2
6	スキルアップセミナーⅠ、Ⅱ	幼稚園・保育所・小学校・特別支援学校の教職員	1×2
7	新規採用幼稚園教諭研修	新規採用幼稚園教諭等	4
8	幼稚園教職5年目研修	幼稚園教職5年目の教諭等	3
9	幼稚園教職10年経験者研修	幼稚園教職11年目の教諭等	6

## (2) 学習機会提供

番号	事業名	目的・内容
1	とちぎ県民カレッジ	心豊かで活力ある生涯学習社会とちぎの形成をめざし、各種の講座を「とちぎ県民カレッジ」として体系的・総合的に提供し、県民の高まる学習意欲に応えるとともに、学習成果を地域で生かせるよう支援する。 事務局の運営 1 登録講座の募集・認定・広報（県・市町・生涯学習関係機関・高等教育機関等） 2 学習活動奨励（学習歴累積希望者登録・奨励証の交付・地域活動奨励） 3 主催講座：「とちぎの学び」広域講座
2	とちぎ子どもの未来創造大学	子どもたちの学力向上の基礎づくりのために、学校における学習に加え、学ぶ意欲を高め主体的に学習に取り組む態度を涵養するような、本物に触れる機会を社会教育で提供する。 ○大学、企業などから提供された講座を実施する。 事務局の運営 1 講座実施機関からの講座状況のとりまとめと広報 2 受講者の受付と受講状況管理
3	公開講座 「ライフアップセミナー」の開催	総合教育センター研修の中から、県民の学習活動として活用できる部分を広く一般に公開し、幅広い学習機会を提供する。 平成27年6月～平成28年2月
	「学びの杜の公開講座」の開催	総合教育センターの施設・設備を生かした公開講座を提供し、広く県民一般の学びを支援するとともに、生涯学習社会に生きる人材の育成を図る。 実施期日 平成27年7月25日（土）
	とちぎの学び広域講座の開催	郷土を愛する心を醸成するとともに、自分たちの地域に関心を持ち、地域の絆づくりにつなげることを目指す。
4	センター開放事業 「学びの杜～ふれる・つくる・考える～」の開催	センターの人的・物的資源を活用し、子どもたちをはじめとするさまざまな年代に向けて学びの機会を提供する。 「ふれる」「つくる」「考える」をキーワードとした「体験活動」の実施 実施期日 平成27年12月19日（土）
5	栃木県自作視聴覚教材 コンクールの開催	視聴覚教育に関わる自作教材の制作を奨励し視聴覚教育の振興を図るため、自作視聴覚教材コンクールを開催する。 平成28年1月中旬応募締切、2月上旬審査、2月下旬表彰

### (3) 学習相談・情報提供

#### ア 学習情報センター

番号	事業名	目的	内容
1	学習相談体制の充実	学習情報センターにおける学習相談を充実し、県民の学習活動を支援する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 県民のニーズにあった学習機会や指導者の紹介</li> <li>2 面談・電話等による生涯学習相談 10:00～17:00</li> <li>3 栃木県学習情報提供システム（とちぎレインボーネット）の利用 24時間受付</li> </ol>
2	情報源の充実	学習相談に対応するための各種の情報源の整備充実を図る。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栃木県学習情報提供システム（とちぎレインボーネット）の運用及び活用</li> <li>2 市町広報誌及び各種情報誌等の活用による情報の提供</li> <li>3 関係機関等との連携</li> </ol>

#### イ 生涯学習ボランティアセンター（体験活動ボランティア活動支援センター）

番号	事業名	目的	内容
1	生涯学習ボランティアセンターの運営	県民の生涯学習ボランティア活動及び青少年の体験活動ボランティア活動を促進・支援する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ボランティアに関する情報収集・提供・相談・紹介・広報などによる支援・援助</li> <li>2 活動の希望者・団体の登録</li> <li>3 ボランティア団体・グループ間の交流</li> <li>4 活動の場の開発</li> <li>5 関係機関・団体との連携</li> <li>6 一日出張相談窓口の開設</li> </ol>

#### ウ 視聴覚ライブラリー

番号	事業名	内容	対象・方法等	備考
1	視聴覚教材・教具等の貸出	DVD・ビデオテープ・16ミリフィルム・プロジェクター・デジタルビデオカメラ・映写機等の貸出を行う。	学校・団体・関係機関 一般県民	窓口：学習情報センター
2	視聴覚教育に関する相談	視聴覚教材・教具の利用に当たっての各種相談を行う。	学校・団体・関係機関 一般県民	窓口：学習情報センター

#### エ 図書資料室

番号	事業名	目的	内容
1	図書資料室の運営	教育関係資料の整備・充実を図り、学習活動を支援する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育関係資料の整備・充実</li> <li>2 レファレンス・貸出</li> </ol>

#### オ カリキュラムセンター

番号	事業名	目的	内容
1	カリキュラムセンターの運営	各学校の自主的な教育活動を支援するためにカリキュラムに関する情報提供を行う。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 カリキュラムに関する情報の収集・整理</li> <li>2 カリキュラムに関する情報の提供</li> <li>3 カリキュラムに関する調査研究及び開発</li> <li>4 要請による指導主事の派遣</li> </ol>

#### (4) 調査研究事業

##### ア 趣旨

学校教育関係及び生涯学習関係各方面の要請や実情に基づき、学校教育の内容や方法等及び生涯学習の在り方や支援の方法等の改善充実を図るため、各種の調査研究を実施する。

##### イ 基本方針

- (ア) 教育行政上の基礎資料となる調査研究を行う。
- (イ) 当面する教育課題を的確にとらえて、指導に役立つ調査研究を行う。
- (ウ) 他の教育機関における調査研究活動との連携を図る。

##### ウ 事業内容

No.	研究主題	研究内容	備考
1	思考力・判断力・表現力の育成に関する調査研究（小・中・高）（2年次）～思考力・判断力・表現力の育成に資する指導事例集の作成	思考力・判断力・表現力の育成に関する現状やこれからの考え方（方向性）及びそれらに基づく授業実践について調査研究を行い、理論及び実践例を参考資料としてまとめ、関係学校等に配布するとともに研修等で活用することにより、児童生徒の学力向上及び教員の指導力の向上に資する。	研究調査部 継続
2	高等学校における教科指導充実のための調査研究～各教科における今日的課題解決を図る指導の工夫【21世紀型能力の育成を図るために】	生徒一人一人の確かな学びを育むために、高等学校における各教科の指導において今日的課題を解決するための指導実践事例を集め、教科指導における工夫改善に資する。平成27・28年度については、21世紀型能力の育成を図る取組に関する資料を作成する。	研究調査部 継続
3	デジタル教材の開発と活用～授業実践に役立つデジタル教材の収集、開発と活用	授業実践に役立つ教材や実践指導資料の収集及び開発を行い、総合教育センターのホームページ「教材研究のひろば」よりWeb発信する。また、研修等で活用促進を図り、教員の授業力向上と児童生徒の学力向上に資する。	研究調査部 継続
4	栃木の子どもの学級と学習に関する調査研究（小・中・高）（2年次）～学業指導の尺度を用いた集団づくり・授業づくりの実践と検証	学習指導及び児童・生徒指導の充実を図るために、本県が推進している学業指導の現状を把握し、その充実を図るための手立てについて調査研究を行い、資料としてまとめ、関係学校等に配布するとともに、研修等で活用することにより、一層の学業指導の充実を促し、児童生徒の社会性の育成及び教員の資質向上に資する。	研究調査部 継続
5	とちぎっ子学習状況調査結果の分析と活用に関する調査研究～調査結果分析ツールの開発と活用	「とちぎっ子学習状況調査」の結果から学校・学級ごとに児童生徒の学力の分布や学習の状況等を把握することができるときの分析ツールを開発し、各学校の指導改善を支援することにより、県内の児童生徒の学力向上及び教員の指導力の向上に資する。	研究調査部 新規
6	栃木の子どもの規範意識調査（小・中・高）～本県児童生徒の規範意識の把握と望ましい指導の在り方	規範意識調査を実施し、平成22年度の同調査との比較等から、本県児童生徒の規範意識の状況を把握するとともに、発達に即した規範意識醸成に向けた学校及び家庭での指導の在り方を明らかにし、参考資料としてまとめ、関係学校等に配布するとともに研修等で活用することにより、児童生徒の規範意識の向上に資する。	研究調査部 新規
7	情報モラルの育成に関する調査研究（小・中・高・特）～ネットトラブルに関する事例集及び指導資料の作成	スマートフォン等の普及によって増加しているネット上のトラブルやSNSの利用実態に関する事例とその対処法を収集することにより、県内のトラブルの現状を把握するとともに、情報モラル指導に関する事例集と指導資料を作成し、Web発信することにより、児童生徒の情報モラル育成に資する。	研究調査部 新規

No.	研究主題	研究内容	備考
8	教育に関する各種統計調査～教育行政基礎資料の提供	<p>本県及び国の教育に係る各種統計調査（県単 6、文部科学省 2 の計 8）を実施し、教育行政、教育施策に関する基礎資料を作成・配布する。</p> <p>○県単調査</p> <p>①中学校卒業者の進路状況調査 ②県立高等学校卒業者の進路状況調査 ③全日制高等学校生徒の他県との交流調査 ④公立学校教員構成調査 ⑤新年度児童・生徒数、学級数見込み調査 ⑥中学校 3 年生の進路希望調査</p> <p>○文部科学省調査</p> <p>⑦地方教育費調査 （教育費調査・生涯学習関連費調査：H26 会計年度） （教育行政調査：5 月 1 日現在）</p> <p>⑧社会教育調査（10 月 1 日現在）</p>	<p>研究調査部</p> <p>継続</p>
9	生涯学習・社会教育に関する調査研究	生涯学習・社会教育関係方面の要請や実情に基づき必要な調査研究を行い、生涯学習・社会教育に係る課題等の明確化を図るとともに支援方法等の改善充実に努める。	<p>生涯学習部</p> <p>新規</p>
10	児童生徒支援に関する指導資料の作成	適切な児童生徒支援のポイントや、実際の課題（いじめ、不登校、発達障害など）に即した事例をまとめた指導資料を作成し、各校における児童生徒支援の充実に資する。	<p>教育相談部</p> <p>継続</p>
11	特別支援学校（知的障害）における教科指導の充実	文部科学省著作教科書を活用した算数科の指導について、調査研究協力校における実践を踏まえ、指導資料（案）を作成する。	<p>教育相談部</p> <p>新規</p>
12	自分たちでできる研修ガイドブック～専門性の高い教職員集団を目指して	子ども・子育て支援新制度の本格化スタートに伴い、各園の保育の質の向上・維持を図るために、互いに学び合う園内研修を充実させ、個々の教職員の資質の向上と共に園の教育力向上を目指す。	<p>幼児教育部</p> <p>新規</p>

## （５）教育相談事業

### ア 趣旨

幼児児童生徒の健全な育成に資するため、障害や教育上の問題などの悩みをもつ幼児児童生徒及び保護者等に対して、問題解決に向けた助言・援助を行う。

### イ 事業内容

事業名	内容	対象・方法等
教育相談	〔来所相談〕 障害や教育上の問題などの悩みについて相談に応じ、問題解決に向けた助言・援助を行う。	幼児児童生徒、保護者等
	〔学校支援〕 学校や教育研究会等からの要請に応じて、児童生徒の学校生活の充実に向けた研修会や事例研究会等に指導主事を派遣し、助言・援助を行う。	学校・教育研究会等

## (6) 幼児教育充実推進事業【幼児教育センター事業】

### ア 趣旨

幼児教育行政の中核的な施設として、幼稚園・保育所・小学校間の連携と相互理解を図りながら、豊かな人間性や「生きる力」の基礎を培うとともに、幼児期から児童期への円滑な接続と幼児期にふさわしい教育環境を目指し、各種の事業を展開する。

### イ 基本方針

#### (ア) 幼稚園・保育所・小学校連携の推進

幼稚園・保育所・小学校連携推進会議を核として、幼児教育の充実を図るとともに、各地域で整備された連携体制とその取組を支援し、幼稚園・保育所・小学校教職員の「子ども観」「教育観」の相互理解を深め、幼児期の教育及び小学校教育の充実を図る。

#### (イ) 研修

幼稚園・保育所・小学校等の教職員を対象とした合同研修や相互理解のための職場体験研修をはじめとして、幼稚園教育要領並びに保育所保育指針に基づく研修や今日的な課題に対応する研修及び教職員等への支援を行い、幼児期における教育・保育の充実を目指す。

#### (ウ) 情報の提供

情報誌やたより、ホームページにより、幼児教育や子育てに関する情報を提供したり、幼児教育関係者の会議等において、県の事業展開等を紹介したりするとともに、専門書、教材ビデオ等を整備し、研修等で活用する。

#### (エ) 調査研究

幼児教育や家庭教育、幼稚園・保育所・小学校の連携等に係る今日的な課題について調査研究を行い、その成果を広く提供・発信し、課題解決の一助とする。

### ウ 事業内容

(一部再掲)

事業名	内 容	開催回数等	備 考
幼・保・小連携の推進	1 幼・保・小連携推進会議 2 幼・保・小ジョイントプロジェクト 幼稚園・保育所・小学校の教職員がともに参加し子どもの発達や学びを踏まえた保育・授業研究を行う。 3 幼・保・小連携実施状況調査 ※	2 回 1 市町	※隔年実施 平成27年度は実施有
研修	1 研修の実施 (1) 合同研修(幼・保・小) (2) 幼・保・小教職員相互職場体験研修 (3) トップセミナー (4) 教育課程研究集会(幼児教育) (5) 特別支援教育研修 (6) スキルアップセミナーⅠ、Ⅱ (7) 新規採用幼稚園教諭研修 (8) 幼稚園教職5年目研修 (9) 幼稚園教職10年経験者研修 2 教職員等に対する研修等 (1) 保育・教育アドバイザーの派遣 (2) 教育相談	1 日 3 日 1 日 3 日 2 日 2 日 4 日 3 日 6 日	職場体験2日
情報の提供	1 情報の提供 (1) 幼児教育センター情報誌「おうち」の発行・配布 (2) 幼児教育センターだよりのメール配信 (3) ホームページによる情報の提供 (4) 国公立幼稚園代表者会議の開催 (5) 幼児教育ビデオライブラリー・食育ライブラリーの整備	2 回 隔月1回程度  1 日	貸出随時
調査研究	1 調査研究 (1) 幼児教育調査研究委員会の開催 (2) 家庭における幼児教育等の実態調査	3 回 2 回	

## (7) 資料・情報の収集提供事業

### ア 資料・情報センターとしての機能の拡大

教育関係職員の教育活動及び研修や生涯学習に関する学習活動・学習相談及び研修を進める上に必要な資料・情報を提供するため、機能の拡大に努める。

### イ 事業内容

事業名	内 容	対象・方法等	備 考
資料情報の収集・提供	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育・生涯学習関係図書及び教科書等の収集・整理・保管・提供</li> <li>2 学校・教育研究所・教育研究団体・生涯学習関係団体等の各種研究成果の収集・整理・保管・提供</li> <li>3 栃木県学習情報提供システム（とちぎレインボーネット）・栃木県生涯学習ボランティア活動支援情報提供システム（とちぎかがやきネット）の活用</li> <li>4 学習相談</li> <li>5 ボランティア情報の収集・提供</li> <li>6 視聴覚教材・教具の貸出</li> <li>7 カリキュラムに関する情報の収集・整理・提供等</li> <li>8 とちぎ学びの杜（センターホームページ）</li> </ol>	幼稚園・小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校・生涯学習関係団体・生涯学習活動者・県内外関係機関並びに一般県民	
広報活動	総合教育センター広報紙、研究成果等の発行 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 要覧</li> <li>2 所報</li> <li>3 総合教育センター施設案内</li> <li>4 生涯学習ボランティアセンター関係広報資料</li> <li>5 視聴覚教材広報リーフレット</li> <li>6 図書資料室広報リーフレット</li> <li>7 とちぎ県民カレッジ関係広報資料</li> <li>8 教育相談リーフレット</li> <li>9 カリキュラムセンター広報リーフレット</li> <li>10 とちぎ学びの杜（センターホームページ）</li> <li>11 総合教育センターだより「学びの杜通信」のメール配信</li> <li>12 総合教育センター重点事業紹介リーフレット</li> </ol>	同 上	

## (8) 研究・学習活動援助事業

### ア 教育研究団体、生涯学習関係団体への支援協力

教育研究団体が当面している教育に関する諸問題の研究や生涯学習関係団体の学習活動について、その推進が図られるよう援助協力する。

### イ 事業内容

事業名	内容	対象・方法等	備考
研究・学習活動援助	教育研究団体の自主的、組織的研究活動の推進、生涯学習関係団体の学習活動の推進、施設利用等に対して援助協力する。	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教育研究会・生涯学習関係団体	
視聴覚教材・教具等の貸出（再掲）	DVD・ビデオテープ・16mmフィルム・プロジェクター・デジタルビデオカメラ・映写機等の貸出を行う。	学校・団体・関係機関 一般県民	窓口：学習情報センター
市町・学校・団体等への支援	市町支援活動	市町	生涯学習推進セミナーと連携
	学校・団体等支援活動	学校 各種団体	
	栃木県視聴覚連盟事務局の運営。視聴覚教育促進のため、各視聴覚ライブラリーとの連絡・調整を行う。	栃木県視聴覚教育連盟	・自作視聴覚教材コンクール ・とちぎ教育の日協賛イベント
	生涯学習ボランティアの活動を支援する。	生涯学習部所管研修修了者有志（センターボランティアの会、栃木県メディアボランティア）等	生涯学習ボランティアの活動支援 ・生涯学習関係事業の支援活動 ・ボランティア学習会 ・自主企画講座の開催

## (9) 教育充実振興事業

### ア 教育研究活動及び生涯学習の振興

教職員の資質の向上、児童生徒の研究意欲の高揚及び生涯学習の振興に資するため、各種の事業を実施する。

#### イ 事業内容

##### (ア) 講座

事業名	内容	対象・方法等	備考
ライフアップセミナー (再掲)	総合教育センター研修の中から、県民の学習活動として活用できる部分を広く一般に公開し、幅広い学習機会を提供する。 平成27年6月～平成28年2月	一般県民	
学びの杜の公開講座 (再掲)	総合教育センターの施設・設備を生かした公開講座を提供し、広く県民一般の学びを支援するとともに、生涯学習社会に生きる人材の育成を図る。 実施期日 平成27年7月25日(土)	一般県民	
教育相談特別講座	子どもへのかかわりという視点から、教師の指導力について考える機会を提供する。 実施期日 平成27年8月7日(金)	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教職員及び教育関係者	

##### (イ) 展覧会・発表会・コンクール等

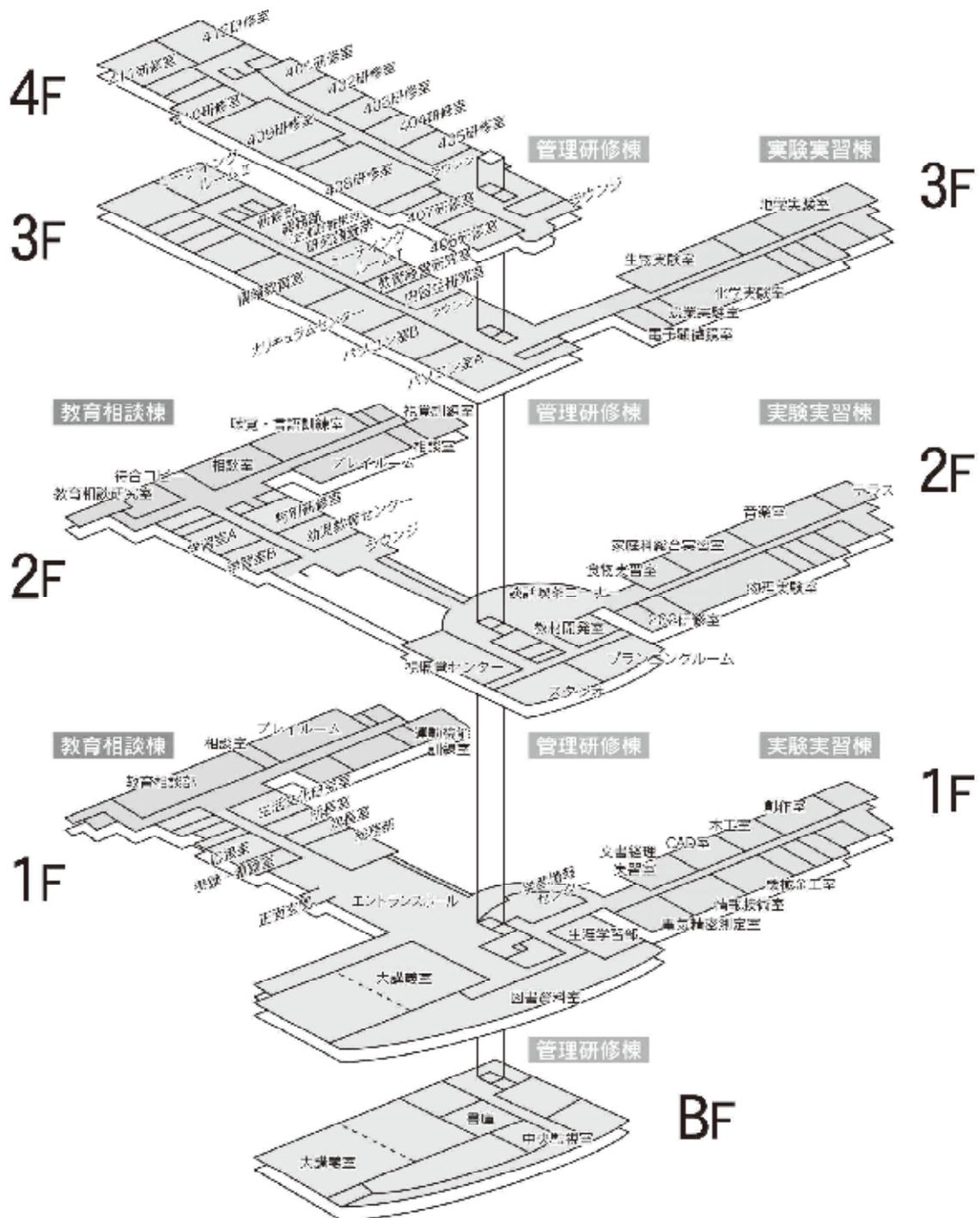
事業名	内容	対象・方法等	備考
第65回全国小・中学校作文コンクール栃木県地方コンクール	小学生・中学生の文章を書く力の一層の向上を図るとともに、国語に対する関心を深め尊重する態度を育てるために作文コンクールを実施する。	小学校及び中学校の児童生徒	
第59回日本学生科学賞栃木県展覧会	中学生・高校生の科学的探究心の高揚を図るため、理科研究作品の展覧会を開催する。	中学校・高等学校及び特別支援学校の生徒	
第65回栃木県児童生徒発明工夫展覧会	創作の喜びや発明工夫の楽しさを味わうことを通して、児童生徒の豊かな観察力と創造力を育成する目的で、作品を募集し、展覧会を行う。	小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校の児童生徒	
第69回栃木県理科研究展覧会並びに発表会	児童生徒の科学する心を育成し、本県理科教育の振興を図るため、児童生徒の理科研究作品の展覧会と発表会を開催する。	小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校の児童生徒	
第28回栃木県自作視聴覚教材コンクール (再掲)	視聴覚教育に関わる自作教材の制作を奨励し視聴覚教育の振興を図るため、自作視聴覚教材コンクールを開催する。 平成28年1月中旬 応募締切 2月上旬 審査、2月下旬 表彰	映像作品の制作を職業としない個人及びグループ等	
平成27年度栃木県教育研究発表大会	県内各教育機関における幼児教育・学校教育及び生涯学習に関する実践研究の成果を広く公開し、その理解と普及を図り、本県教育の充実・向上と生涯学習の振興に資する。 実施期日 平成28年1月29日(金) 平成28年1月30日(土)	幼稚園・保育所教職員、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教職員、大学生、生涯学習関係者等一般県民	
平成27年度総合教育センター開放事業「学びの杜～ふれる・つくる・考える～」 (再掲)	センターの人的・物的資源を活用し、子どもたちをはじめとするさまざまな年代に向けて学びの機会を提供する。 「ふれる」「つくる」「考える」をキーワードとした「体験活動」の実施 実施期日 平成27年12月19日(土)	幼児～高校生を中心とする子ども・保護者等	

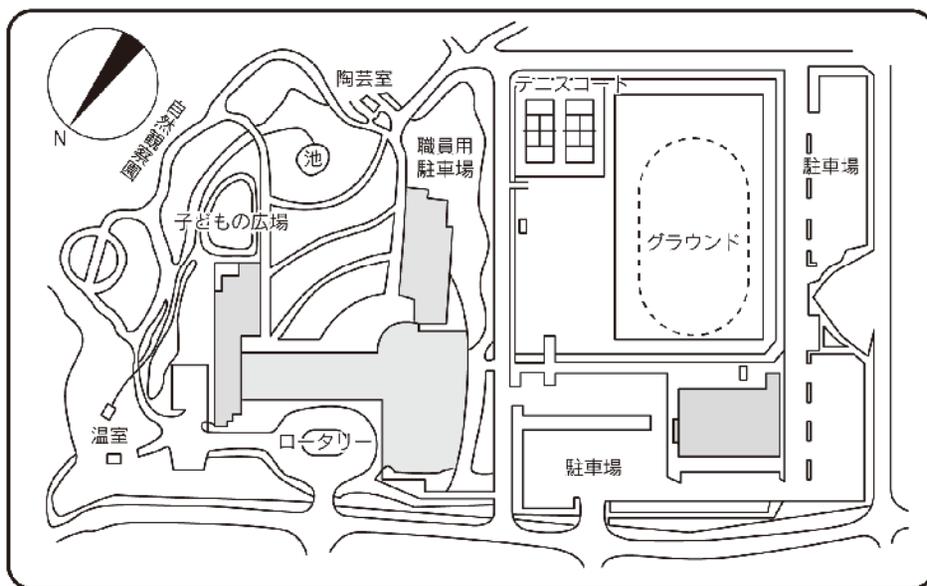
# 4 職員等一覧

平成27年4月1日現在

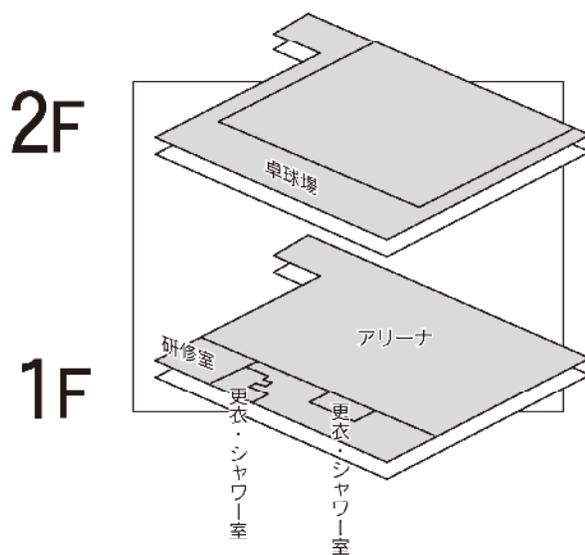
部	職名	氏名	部	職名	氏名	
所次	長	長野 誠	研究調査部	部長	若杉 俊明	
	長	大関 武		部長補佐	宮井 由美	
総務部	部長(兼)	大関 武		副主幹	菊地 高夫	
	部長補佐(総括)	村田 浩子		指導主事	岩瀬 英二郎	
	主幹(企画調整担当)	星 尚志		〃	山口 昌子	
	副主幹(〃)	小栗 克樹		〃	岩本 善行	
	指導主事(〃)	大高 裕一		〃	五月女 穰	
	主査	木舟 克己		〃	中條 康雄	
	〃	高橋 麻紀		〃	水井 ゆかり	
	〃	渡辺 典子		〃	和田 安史	
	主任査	岩崎 純子		〃	関口 健太郎	
	技査	腰塚 政美		〃	大山 晃	
臨時補助員	草野 秀子	〃		糀谷 隆雄		
生涯学習部	部長	大金 浩		係長	田代 文雄	
	部長補佐	近藤 正		主査	永畑 由美	
	副主幹	小林 己伸	臨時補助員	星井 知子		
	〃	渡邊 紀子	教育相談部	部長	和氣 由美子	
	〃	添谷 元良		部長補佐	谷口 照子	
	〃	高德 晃		副主幹	塩田 裕子	
	社会教育主事	佐藤 孔之		〃	日向野 晃	
	〃	白井 淳子		〃	増渕 直樹	
	教育研修研究調査員	関 卓司		〃	小島 圭子	
	〃	大谷 仁		〃	佐山 功	
生涯学習相談員	綱川 芳孝	指導主事		青柳 晋作		
〃	蓮見 徹	〃		人首 健一		
〃		〃		飯村 伸子		
研修部	部長	松本 良雄	教育研修研究調査員	瀧 潤		
	副主幹	柳田 昌臣	幼児教育部	部長	森田 浩子	
	〃	山口 信一		副主幹	堀江 賢	
	〃	金敷 美由紀		〃	高木 恵美	
	〃	三澤 雅子		指導主事	前原 由紀	
	〃	谷中 政昭		〃	黒川 貴広	
	〃	北條 諭		幼児教育センター顧問	神長 美津子	
	〃	鈴木 秀子		幼児教育専門員	吉田 カヨ	
	指導主事	野澤 裕治		〃	栗田 英子	
	〃	小栗 和彦		教育経営研究室	教育研修専門員	檜山 正弘
	〃	古口 のり子			〃	小林 邦夫
	〃	宮田 勇彦	〃		寺内 孝夫	
	〃	今井 和彦	〃		石川 栄壽	
	〃	庄司 由夏	〃		林 信夫	
	〃	大石 務	〃		橋本 和英	
〃	板橋 美季	〃	佐藤 仁			
〃	谷 伸俊					

# 栃木県総合教育センター配置図





体育館



## 施設の概要

◆敷地面積 57, 586㎡（管理研修棟側31,828㎡ グラウンド側25,758㎡）

### ◆建物の概要

- ・管理研修棟 延べ床面積／14,046.9㎡  
内訳 管理研修棟9,218.65㎡（地下1階地上4階建）  
実験研修棟2,810.90㎡（地上3階建）  
教育相談棟2,017.35㎡（地上2階建）
- ・体育館 延べ床面積／1,539.25㎡
- ・陶芸室・温室 延べ床面積／61.29㎡

## 栃木県総合教育センター案内

◆所在地 〒320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町1070番地

### ◆電話案内 市外局番 028

総務部	TEL 665-7200	FAX 7217	生涯学習部	TEL 665-7206	FAX 7219
(企画調整担当)	TEL 665-7202	FAX 7218	学習情報センター	TEL 665-7207	FAX 7219
研修部	TEL 665-7202	FAX 7218	生涯学習ボランティアセンター	TEL 665-7207	FAX 7219
研究調査部	TEL 665-7204	FAX 7303	情報教育室	TEL 665-7208	
教育相談部	TEL 665-7210	FAX 7212	カリキュラムセンター	TEL 665-7204	FAX 7303
	TEL 665-7211		教育経営研究室	TEL 665-7209	
幼児教育部	TEL 665-7215	FAX 7216			
(幼児教育センター)					

### ◆ホームページ案内

栃木県総合教育センターホームページ

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>

とちぎレインボーネット（栃木県学習情報提供システム）

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/>

幼児教育センターホームページ

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/>

カリキュラムセンターホームページ

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/curriculum/rss/index.php5>

### ◆利用案内（利用できる日）

教育相談……………月～金曜日

貸出施設……………火曜日～日曜日及び第3日曜日の翌月曜日

学習情報センター、生涯学習ボランティアセンター、図書資料室……毎日

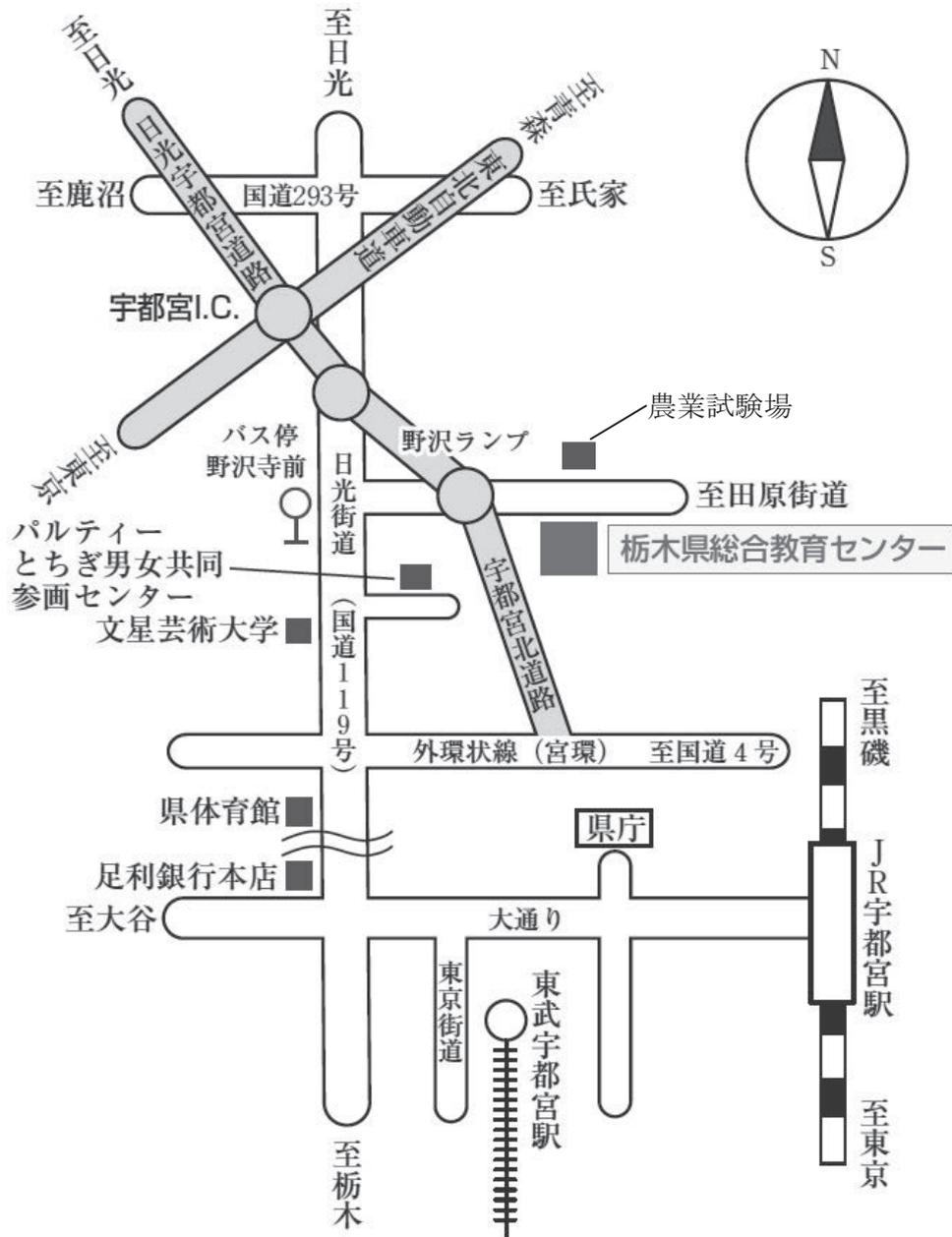
カリキュラムセンター……………月～金曜日（来所相談及び土曜日、日曜日の利用は予約が必要）

※利用できない日（施設の管理運営上変更になる場合もあります。）

第3日曜日（学習情報センター、生涯学習ボランティアセンター及び  
図書資料室は第1・3日曜日）

国民の祝日、年末・年始（12月28日～1月4日）

## ◆交通案内



### アクセス

#### ◆関東バス利用

- ・ JR宇都宮駅西口（8番のりば） 約10km 30分
- ・ 東武宇都宮駅（大通り沿いバス停・東武駅前） 約9km 30分

系統：今市・日光東照宮行、船生行、山王団地行、石那田行

↓  
野沢寺前下車 徒歩 15分

#### ◆タクシー利用

- ・ JR宇都宮駅西口から 約10km 25分
- ・ 東武宇都宮駅から 約9km 20分

#### ◆東北自動車道利用

- ・ 宇都宮I.C.から車で5分  
(宇都宮北道路野沢ランプを下りてすぐ)

がんばろう日本!  
元氣をとちぎから。

